

真言宗 御室派 岩屋山 岩屋寺

お寺だより第二十六(新年)号

(御本尊：大日如来)

住職：中村賢光

〒701-1465

岡山市北区上土田480

TEL&FAX

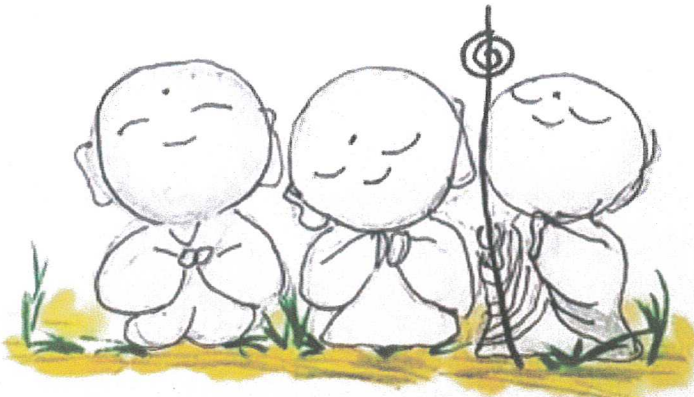
086-295-0466

# おかげさん



何 が 起 きて も  
 笑 っ た 分 だけ  
 幸 せ が あ る け  
 泣 け た 分 だけ  
 こ れ か ら が あ る

田口久人



新年明けましておめでとうございます。岩屋寺檀信徒の皆様におかれましては、新年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、新型コロナウイルスの影響で、様々な事が変わりました。岩屋寺におきまして、法要の中止等、今まであたりまえであった事が出来なくなり、色々な制限の中での生活を余儀なくされ、非常に残念な年になりました。たが、岩屋寺の護持発展のために格別のご高配を賜りましたことを篤くお礼申し上げます。今、コロナ禍の先行きが見えない中ですが、今私に出来る事をしっかりと務めさせていたいただきたいと思えます。苦しい時ではありませんが、皆様もバランスの取れた食事、適度な運動、十分な睡眠で身体に気を付けていただき、不安や悩みがあれば岩屋寺御本尊様に気持ちを納めて沢山のパワーをいただき、心にストレスを貯めず、力強く歩んでいただき、事を願います。

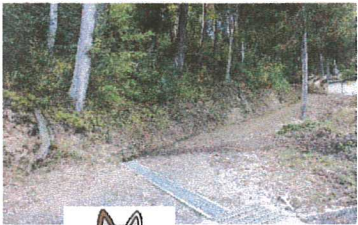
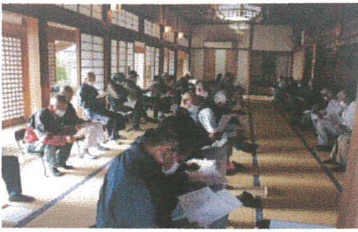
コロナの収束と皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。



岩屋寺 中村賢光 合掌

☆総代会からのお知らせ

・11月23日コロナウイルス感染症対策をとったうえで本堂にて総会を開催、終了後裏山・駐車場東の雑木林・太陽光周辺の清掃活動実施しました。本年より5月総代会にて決算報告を行い承認頂き皆様に会計報告を送らせて頂くことになりました。



ありがとうございました



☆12月6日上楨谷、コゴロ有志12名が岩屋寺本堂裏法面の清掃に来て頂きました。



☆12月12日13日総代、有志の方に松、雑木剪定をして頂きました。





～年末年始御奉納ありがとうございました～



◎鶴井務様(上土田)

・米 15kg

◎坪井勇様(向郷ノ瀬)

・米 30kg

◎石原千穂子様(高梁市)

・お地蔵様前掛け用反物



◎笹井康江様(池の下)

・お地蔵様前掛け、帽子 三体

◎服部英文様(池の下)

・お地蔵様前掛け、帽子 六地藏

◎在間和枝様(岡山市街)

・お地蔵様前掛け、帽子 三体

◎石尾紀支夫様(阿弥陀原)

・本堂、大師堂しめ縄飾り

・審殿、庫裏しめ縄飾り

◎平田昇様(畑ヶ野)

・米 30kg

・酒 1升

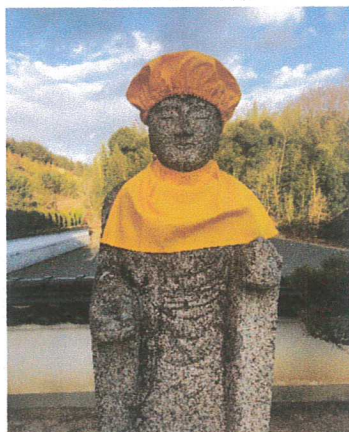
・かぼす 1箱

◎板谷元雄様(中筋下)

・酒 1升



笹井康江様奉納



在間弘朗様奉納



在間和枝様奉納

※お地蔵様前掛け、帽子は経年劣化により随時交換させていただきます。  
交換時写真をおかげさんに掲載させていただきます。  
皆様の御奉納お待ちしております。



### 施餓鬼供養塔婆送り

昨年行いました施餓鬼法要 供養塔婆を年末に高野山 奥之院へ  
お焚き上げの為納めさせていただきました。

令和三年 法事年忌表

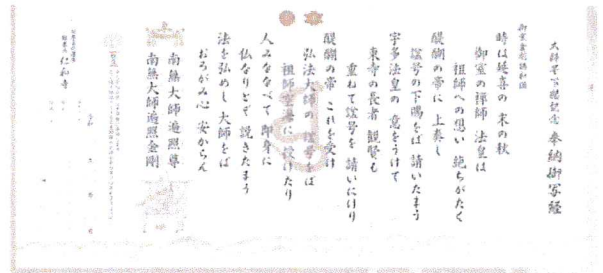
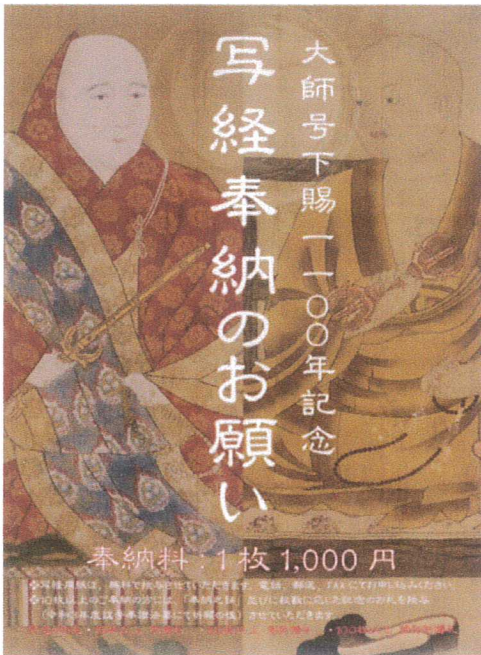
※以下の年に亡くなられた方は  
令和三年が年忌法事に  
あたります。ご参考ください。

|      |        |      |        |        |        |        |        |        |        |
|------|--------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 〇〇   | 〇〇     | 〇〇   | 〇〇     | 〇〇     | 〇〇     | 〇〇     | 〇〇     | 〇〇     | 〇〇     |
| 一    | 三      | 七    | 七      | 七      | 七      | 七      | 七      | 七      | 七      |
| 周忌   | 周忌     | 回忌   | 回忌     | 回忌     | 回忌     | 回忌     | 回忌     | 回忌     | 回忌     |
| 令和二年 | 平成三十一年 | 令和元年 | 平成二十七年 | 平成二十七年 | 平成二十七年 | 平成二十七年 | 平成二十七年 | 平成二十七年 | 昭和四十七年 |

◎令和三年の方位  
恵方巻の方角  
南南東やや右です。

本山仁和寺よりお知らせです。

ご興味がある方は連絡お待ちしております。詳しく説明させていただきます。



この度仁和寺ではこの1100年を機縁に「大師号下賜(だいしごうかし)1100年記念写経」を新たに発願させていただきました。写経とは仏教を信仰する者の尊い行いのひとつであり、文字を書写することにより大きな功德があるとされています。自らの所願成就、ご先祖様の供養、またコロナ禍を生抜く方策の1つとして更には弘法大師 空海上人のご法縁をひとりでも多くの方に結んで頂きたく、ここに写経奉納をお願いする次第であります。

写経の心得

上手に書こうと思う必要はありません。1字1字、心を込めてお写経ください。

写経の文字について

写経いただく文字は高野山大学名誉教授・文学博士の高木神元先生作詞の御室金剛講和讃となっております。和讃とは日本語で仏・菩薩・高僧の徳や教えを讃える歌で記念写経には大師号下賜に至るまでの宇多法皇(仁和寺ご開山)の御心を詠んだ詩となっております。

☆留守にすることが多い為お寺に御用の方は事前に電話連絡をお願い申し上げます。